

派遣留学プログラム 月間報告書

(報告期間 3/1~3/31)

1. 勉学の状況

今月は、クイズがあったものの、特に大きな試験はありませんでした。一方、社会心理学と anthropology のエッセイの提出が迫っていたので、課題が忙しかったです。

Anthropology のエッセイの内容は地球温暖化についてでした。バックグラウンドリーディング（地球温暖化についてと、心理学について）を読んで、自分と違う意見を持っている人達にどのように訴えかけ、変化を促すことができる文章を書けるかというお題でした。これは public anthropology project といって、ウェブ上で北米のいろんな大学の学生が参加しているプロジェクトでした。自分のエッセイをプロジェクトのサイトにアップし、実際に学生どうしで評価し合い、優秀な作品を出版するというものです。“どのように人の心を動かすように情報を伝えるか”ということにここまで焦点をあてて考えたことがなかったので、面白かったです。また、実際にバックグラウンドリーディングの心理学的手法を実践する場にもなりました。どれだけ多くの事実を提示しても、相手を否定するだけでは逆効果になってしまうそうです。類似点を見つけて、理論を上手く相手の身近なものに当てはめられるかが鍵となります。

社会心理学のエッセイは授業で習ったコンセプトを、現実世界の例を交えて説明するというものでした。映画やドラマ、歌詞の内容など、心理学的理論が働いている場面を探します。これは10枚以上という長いエッセイだったため、先月から書き始めてました。いろんな情報をAPA形式でリファレンスするのが結構大変でした。インフォーマルな書式で書いて良い課題だったので、少しばかりフォーマルなものよりは楽でしたが、とても時間がかかりました。状況説明など、思っていたよりも難しく、ライティングのスキルの上達があまり感じられなくて少し落ち込みました。ネイティブの友達に見直しなど手伝ってもらって、最終的に23ページ書きました(表紙やリファレンスも含め)。終わったときはとても達成感がありました。

今月の終わりにレジャイナ大学でストライキが起こりかけました。もし本当に起こったら学期末試験や今後の授業の予定が全て狂ってしまう事になり、航空券など既にとっていたので心配でした。しかし、協議をかさねた結果、双方の合意が成立して何も起きませんでした。何事もなく良かったです。

2. 生活の状況

今月はいろんなイベントに参加しました。大学の運動系クラブの一員としてファンドレイズイベントに参加したり、1年の締めくくりの Banquet に出席したりしました。Banquet ではみんなスーツやドレスを着て正装していて、すごく素敵でした。また、アルティメットチームのファンドレイズで、レストランを借りてブランチファンドレイズを開催しました。月の中旬には難民支援の学生団体(WUSC)のイベントにもボランティア

として参加しました。私はただ設営をただけでしたが、メンバーのみんなは入浴剤の手作り体験を通して募金を集めたりしていました。大学でも international night というイベントがあり、本当にレジャイナにはいろんな国にバックグラウンドを持つ人達がいるんだと再確認できました。今月の終わりには、私にとって最後のアルティメットの大会がありました。一つ隣の州まで車で8時間かけて行きました。こんな風にチームメイトと過ごせるもの最後かと思うと、とても寂しかったです。エドモントンのとても大きなショッピングモールにも寄ることができ、大会でも二位に入り、とても充実した週末となりました。

来月が最後の月だなんて未だに実感が湧きませんが、最後まで楽しみながら大切に日々を過ごしていきたいと思います。



WUSC のイベント



West Edmonton mall



アルティメットの大会



VCAB awards banquet